

●令和4年度 二戸市内の地域の経済動向調査

業種	事業所数	売上高	売上原価	売上総利益	販管費	専従者給与	営業利益	繰戻額	繰入額	経常利益	従業員数
建設業	8	361,076,146	221,375,484	139,700,662	90,741,666	14,288,500	34,670,496	2,181,608	2,486,770	34,365,334	9
製造業	5	135,805,812	41,187,062	94,618,750	74,091,118	1,920,000	18,607,632	0	0	18,607,632	18
卸売・小売業	11	226,187,857	139,935,776	86,252,081	56,425,221	10,756,000	19,070,860	0	0	19,070,860	6
飲食・宿泊業	10	99,844,375	32,498,592	67,345,783	60,811,370	3,260,000	3,274,413	0	0	3,274,413	13
サービス業	12	167,876,465	44,157,205	123,719,260	76,488,140	13,557,000	33,674,120	678,780	665,819	33,687,081	11
その他	4	25,986,487	0	25,986,487	12,528,096	3,330,000	10,128,391	0	0	10,128,391	1
計	50	1,016,777,142	479,154,119	537,623,023	371,085,611	47,111,500	119,425,912	2,860,388	3,152,589	119,133,711	58

【調査結果コメント】

令和4年度に、当商工会で選定した50社の財務データを基に、「二戸市内の地域の経済動向調査」として集計・分析した。この結果を「基準年度」として、令和5年度以降も毎年調査を実施して、各業種の経済動向の変化を集計・分析して、当会ホームページに掲載して情報提供を行う。

- ・建設業について  
売上高の規模が比較的大きく、8社平均の経常利益率が9.5%と高いレベルにあり、安定基調の経済動向となっている。
- ・製造業について  
売上高の規模は大きくないが、5社平均の経常利益率が13.7%と高いレベルにあり、安定基調の経済動向となっている。
- ・卸売・小売業について  
売上高の規模が比較的大きく、11社平均の経常利益率が8.4%と安全なレベルにあるが、今後の経済動向を注視する必要がある。
- ・飲食・宿泊業について  
新型コロナウイルス感染症に影響により、売上高の規模が縮小傾向にあるが、10社平均の経常利益率が3.2%と、まだ健全なレベルにある。
- ・サービス業について  
二戸市内の消費者ニーズの多様化に伴い、ある程度サービス業の種類も整っている。他の業種と比較して売上高の規模は大きく、12社平均の経常利益率が20.1%と非常に高いレベルにあり、今後も同水準での推移が期待できる。
- ・その他について  
この業種は、仕入れ（売上原価）がないことから、4社平均の経常利益率が38.9%と非常に高いレベルにある。